

2021年3月期第2四半期決算

株式会社ミツバ

2020年 11月10日(火)

I . 2021年3月期第2四半期決算

II . 2021年3月期業績予想

III . 第12次中期経営計画

I . 2021年3月期第2四半期決算

I. 2021年3月期第2四半期決算（サマリー）

新型コロナウイルスの影響

→前年上期対比、**売上高▲436億円、営業利益▲51億円**

売上高：日本、米州、アジアエリアが大幅減収

営業利益：日本、アジアエリアが大幅減益

種類株式発行による資本増強

→種類株式の発行により、**200億円の資本増強**が完了
自己資本比率 9.2%（20年3月期）

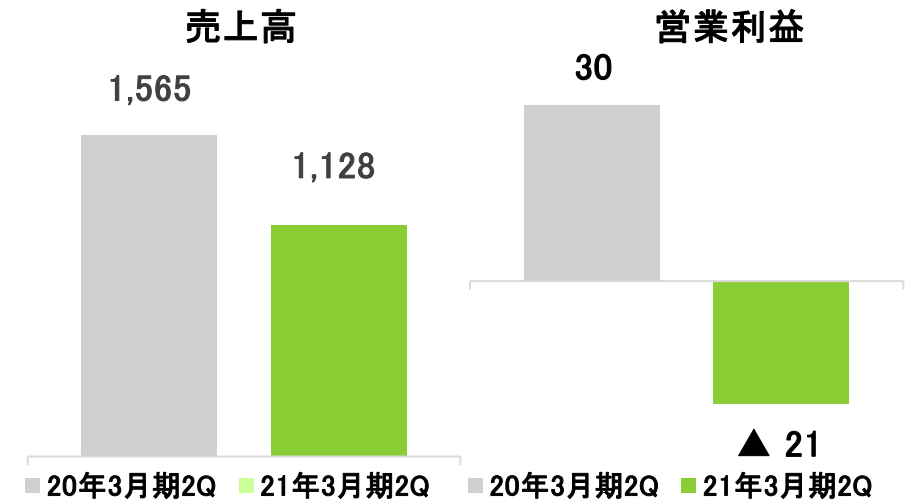
⇒ 13.5%（21年3月期2Q）（+4.3%）

第12次中期経営計画スタート

→構造改革およびFCF改善施策の推進

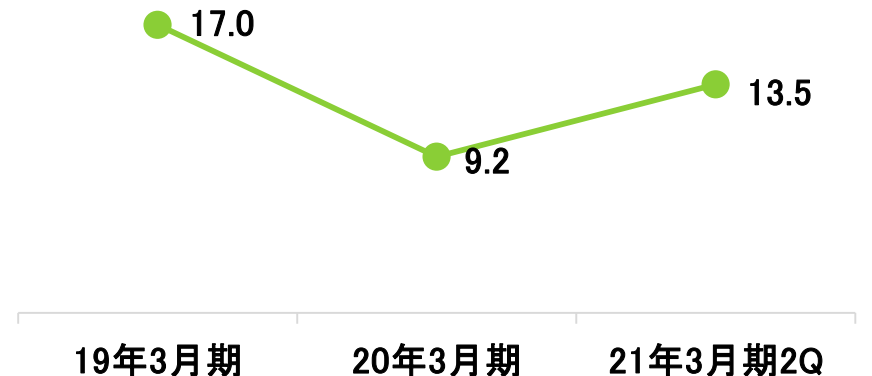
- ・上期の設備投資を**36億円**に抑制
- ・前年上期に対し、**経費▲46億円、人件費▲71億円**
- ・希望退職549名（2020年10月末退職）

単位：億円



自己資本比率

単位：%



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う市場低迷により、減収・減益

四半期連結損益計算書

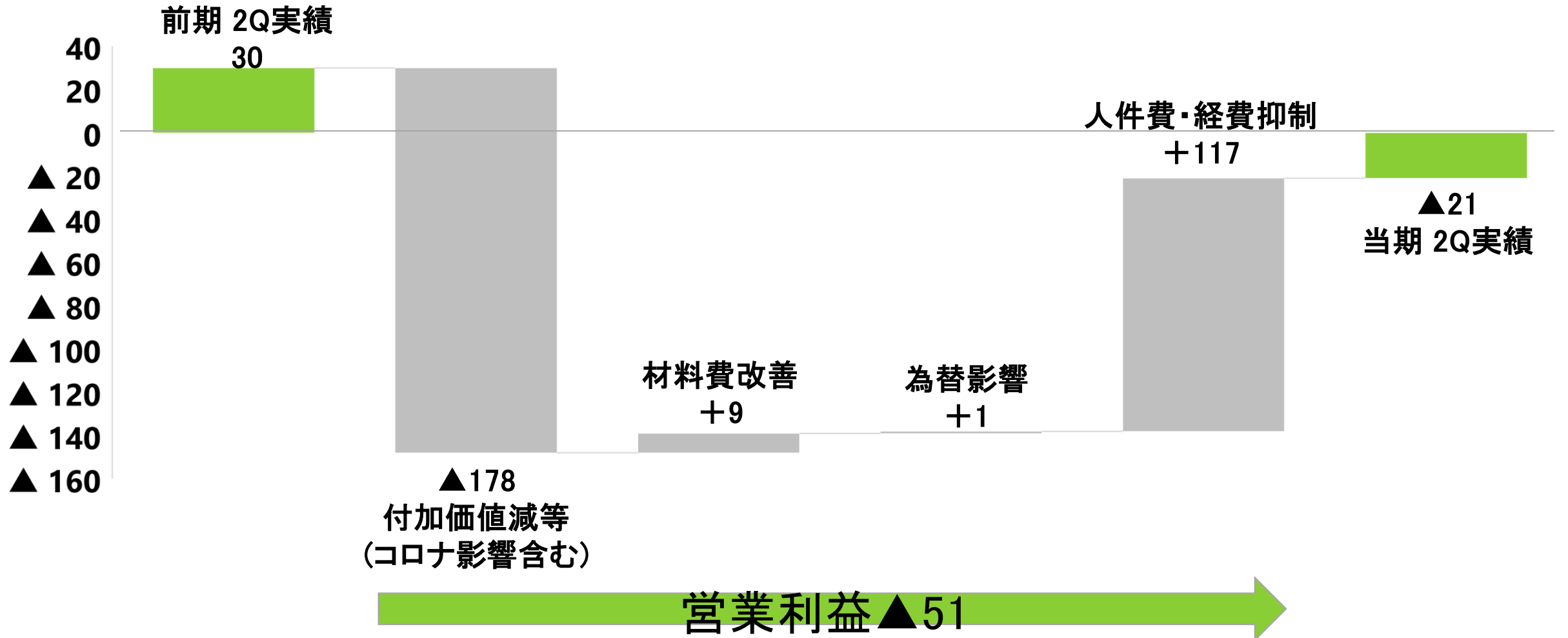
(単位:億円)

科目	20年3月期 2Q実績	21年3月期 2Q実績	増減	増減率
売上高	1,565	1,128	▲436	▲27.9%
営業利益/損失	30	▲21	▲51	—
経常利益/損失	21	▲21	▲43	—
税引前四半期純利益/損失	14	▲35	▲50	—
四半期純損失	▲13	▲48	▲34	—
親会社株主帰属四半期純損失	▲24	▲50	▲26	—

為替レート(6ヶ月平均)	20年3月期 2Q実績	21年3月期 2Q実績
USD(米ドル)	108.61	106.93
EUR(ユーロ)	121.45	121.36
CNY(中国元)	15.68	15.26

人件費・経費を抑制するも、減収による付加価値減を賄えず、減益

(単位:億円)

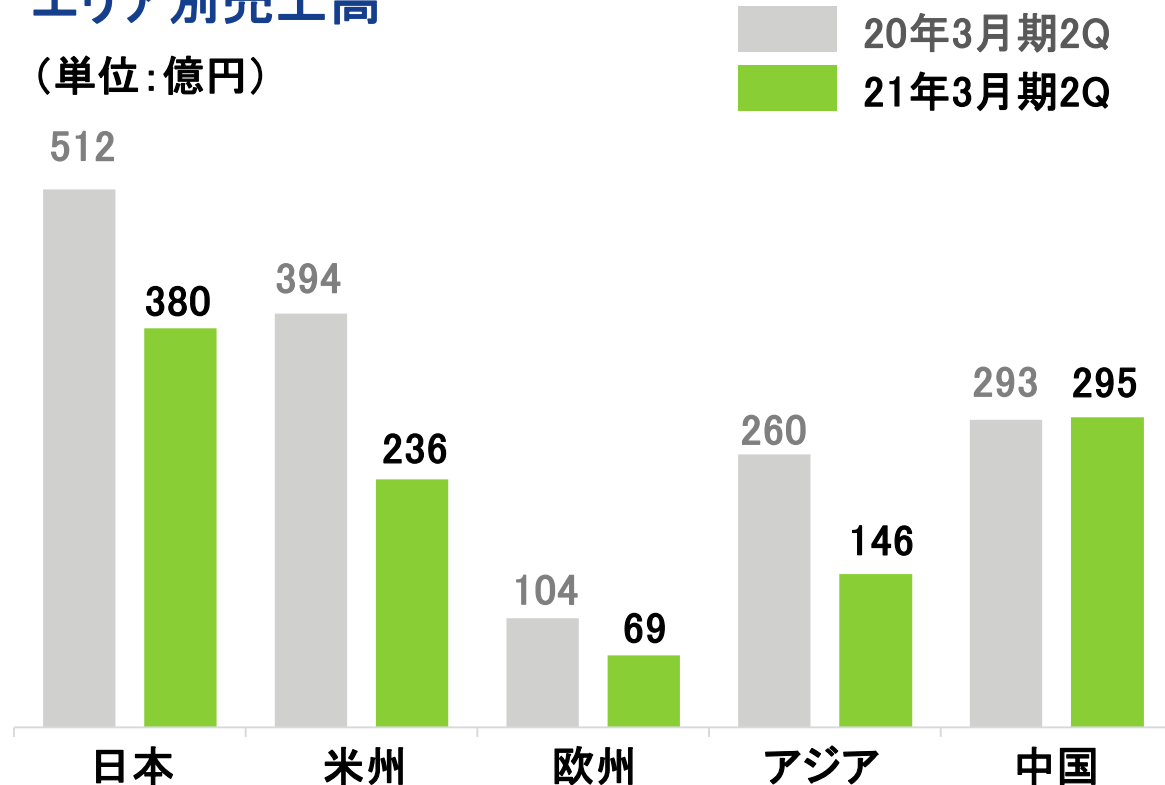


I . 2021年3月期第2四半期決算（エリア別）

北米およびフィリピン、インドのロックダウンにより減収
米州エリアは、減収による付加価値減を、人件費・経費の抑制により吸収

エリア別売上高

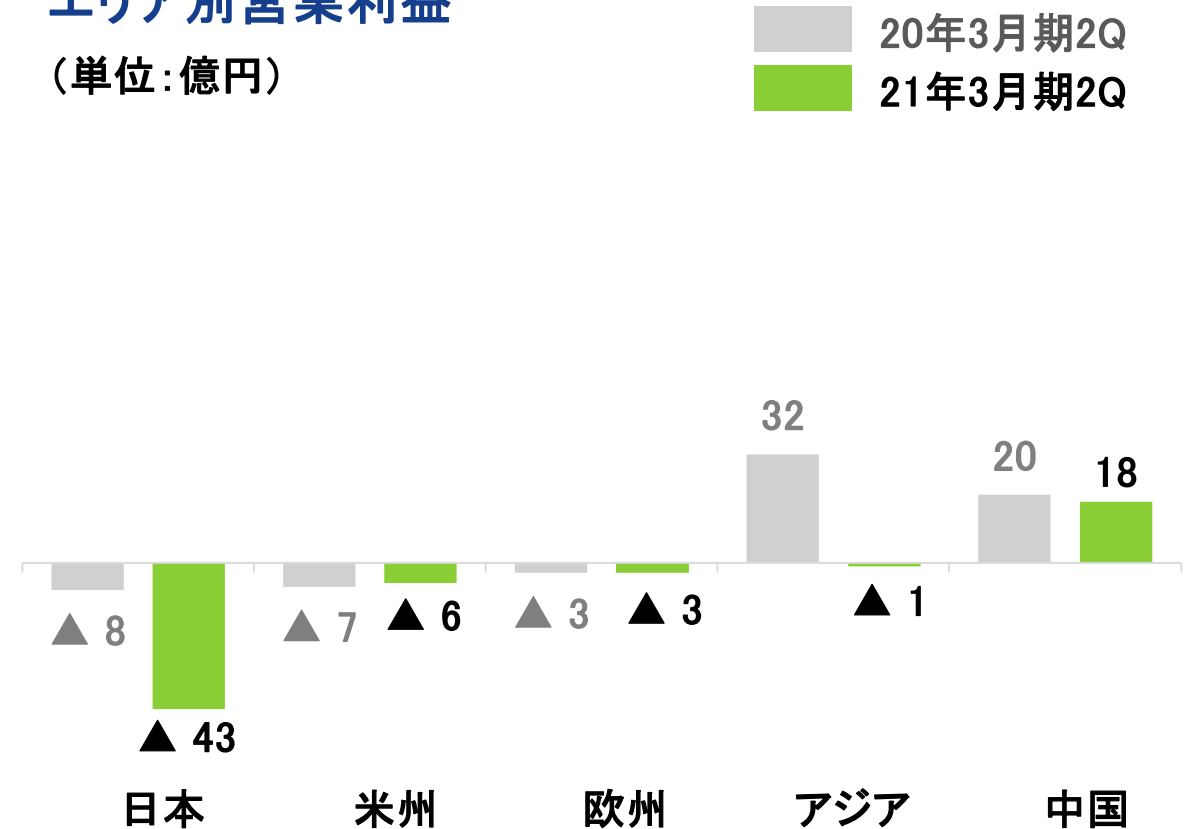
（単位：億円）



中国エリアを除き、減収

エリア別営業利益

（単位：億円）

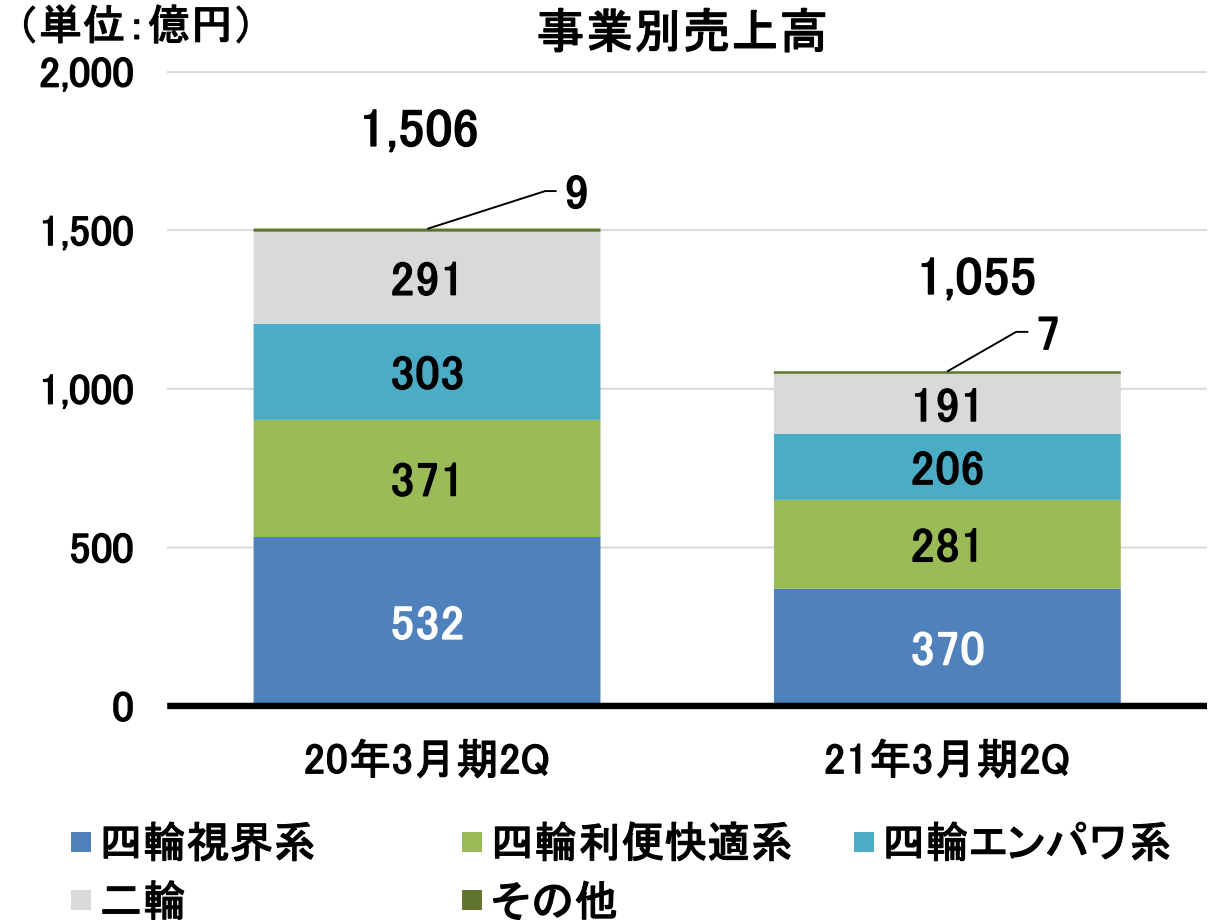
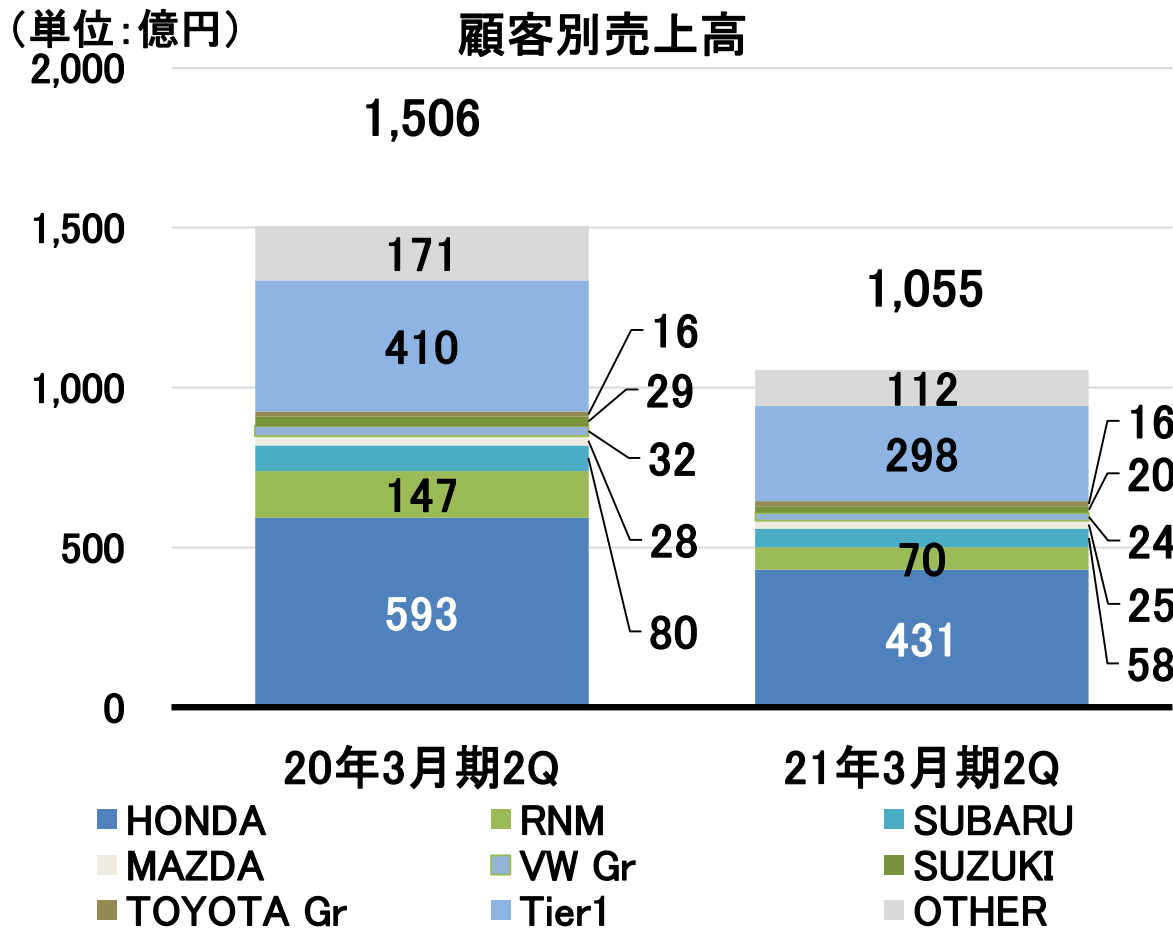


日本、アジア、中国の各エリアで減益

（注）営業利益はセグメント間取引消去前の金額

I. 2021年3月期第2四半期決算(顧客別、事業別売上)

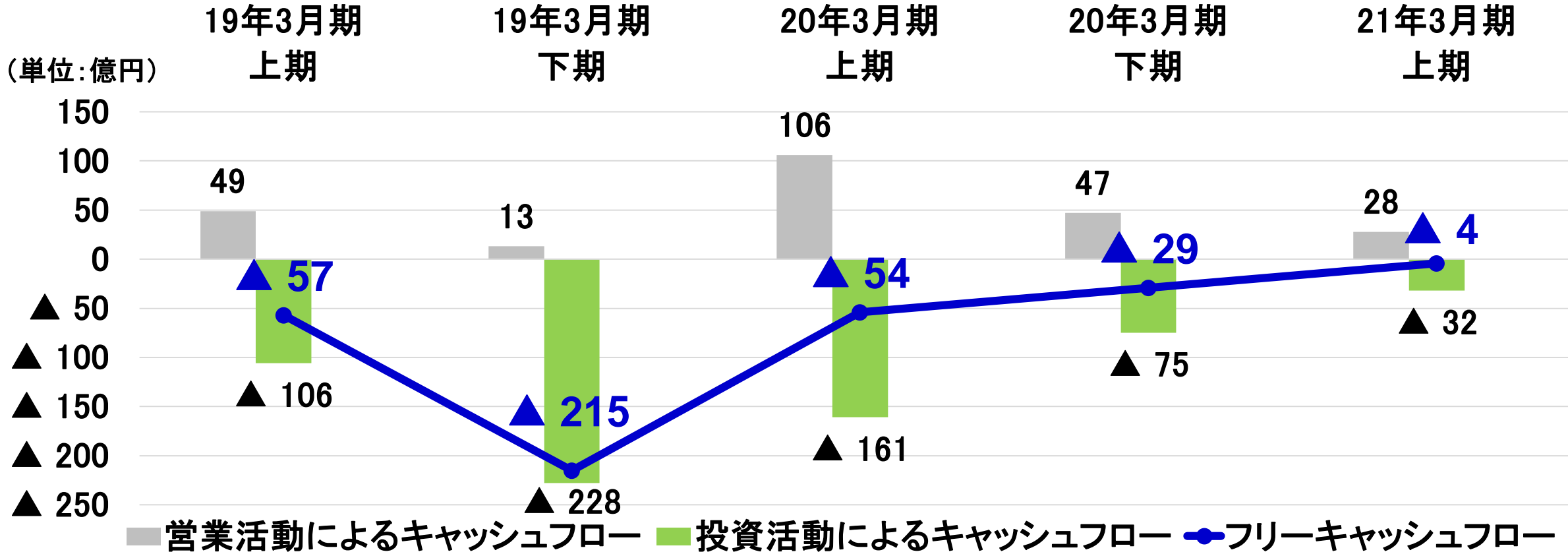
新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、主要顧客向けは軒並み減収
事業別では、特にインド・インドネシアを中心とした、二輪事業が減収



※上記、顧客別／事業別売上高は輸送用機器関連事業ドメインを対象としています

I. 2021年3月期第2四半期決算

設備投資の抑制により、フリーキャッシュフローが改善



項目	20年3月期 2Q実績	21年3月期 2Q実績	増減
設備投資	163	36	▲127
減価償却費	75	80	+5

Ⅱ．2021年3月期業績予想

新型コロナウイルス感染拡大による市場の不透明感もあり、引き続き厳しい状況を予測

連結損益計算書

(単位:億円)

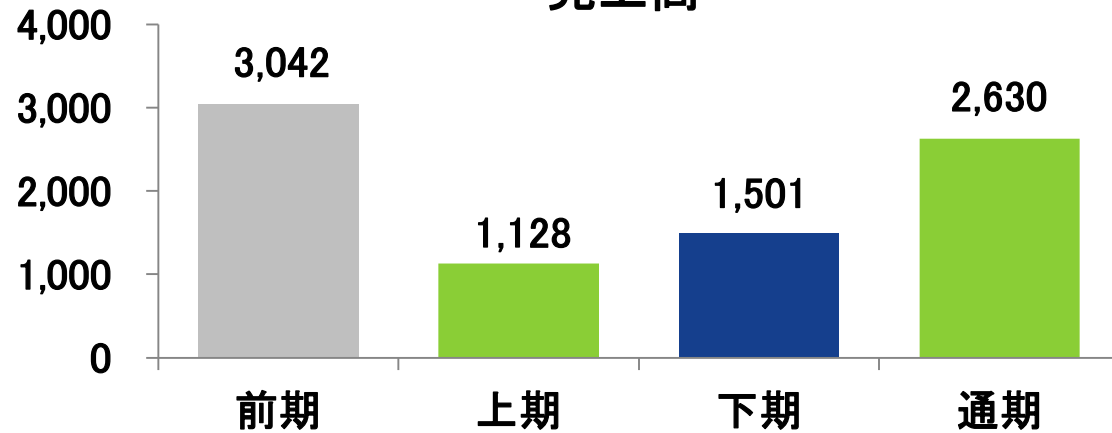
科目	2020年3月期 実績	2021年3月期 予想	増減	増減率
売上高	3,042	2,630	▲412	▲13.6%
営業利益	85	6	▲79	▲93.0%
経常利益	68	8	▲60	▲88.4%
親会社株主帰属純損失	▲138	▲54	+84	-

為替レート	20年3月期 実績	21年3月期 計画
USD(米ドル)	108.71	105.00
EUR(ユーロ)	120.86	125.00
CNY(中国元)	15.60	15.50

連結

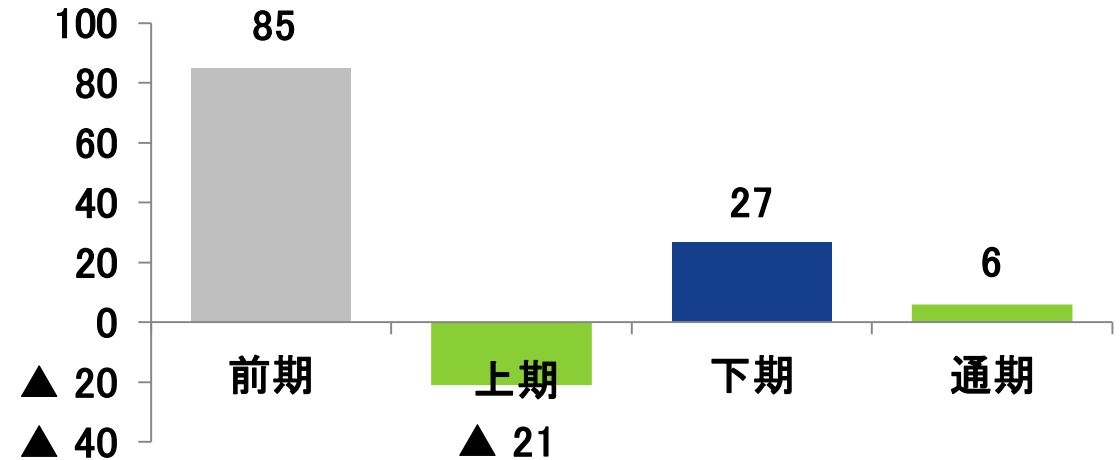
売上高

(単位: 億円)



営業利益

(単位: 億円)



エリア別 下期予想

全エリアとも回復傾向ではあるが、新型コロナウイルス感染症の影響は引き続き不透明

- ① 日本エリアは、構造改革による通期効果を見込む
- ② 米州エリアは、第2四半期からの市場回復の継続を見込む
- ③ アジアエリアは、市場回復を見込むものの、インドネシアの二輪車販売は低迷を予測
- ④ 中国エリアは、上期堅調の維持を見込む

Ⅲ. 第12次中期経営計画

収益力・キャッシュフロー創出力の強化による財務体質の改善

重点施策Ⅰ

事業構造改革の推進

1. 四輪事業
 - ① 「市場・顧客」×「商品」における選択と経営資源の集中
 - ② グローバル生産供給体制の構造改革（最適化・再構築）
2. 二輪・汎用事業
 - ① 成長の見込める二輪事業への経営資源シフト

重点施策Ⅱ

企業体質の強化

1. フリーキャッシュフロー改善による財務体質の強化（固定費圧縮）
2. 開発型ものづくり企業としての継続的改善（継続的VA）
3. 「構造改革」を支えるガバナンス・経営管理能力の強化と業務革新

重点施策Ⅲ

次世代に向けた取り組み

1. 次世代のビジネスの柱となる新価値商品の創出
2. システム開発を強化し、機電一体化による商品の高付加価値化
3. 品質問題の未然防止・再発防止・早期収束

Ⅲ. 第12次中期経営計画（経営目標）

- 第12次中期経営計画は2020年度～2024年度の5年間
- 本計画最終年度（2024年度）の業績目標値は以下の通り

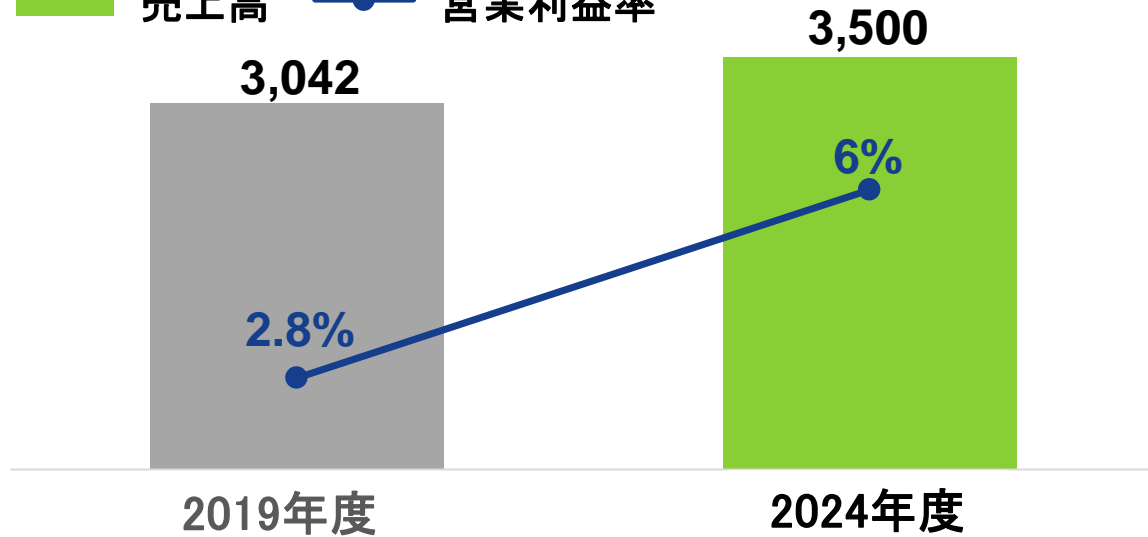
2024年度目標値

売上高
営業利益率

3,500億円以上
6%以上

（単位：億円、%）

■ 売上高 —●— 営業利益率



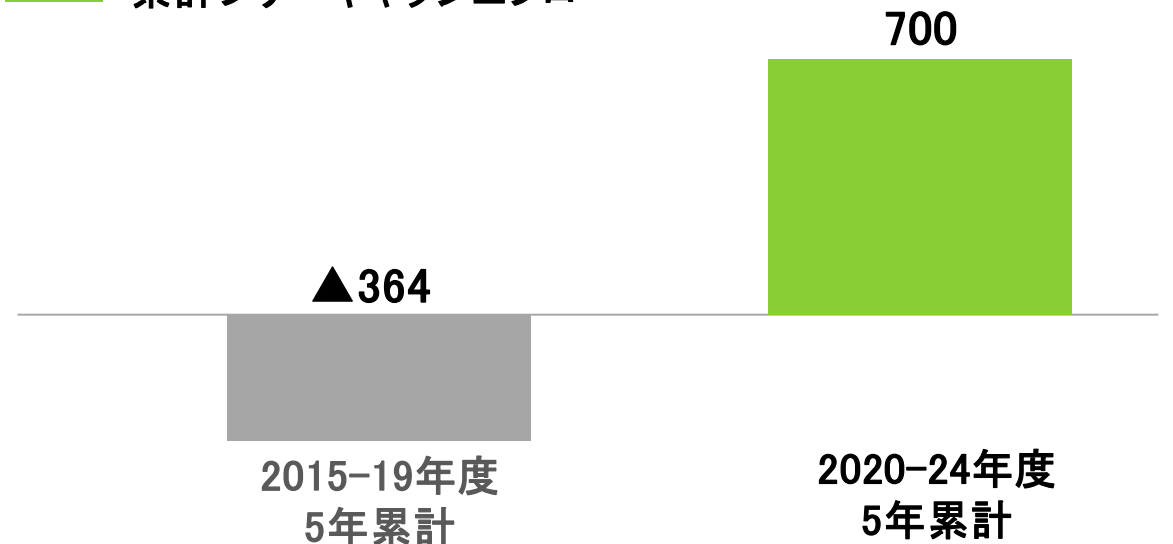
2024年度目標値

累計フリー
キャッシュフロー

5年間累計
700億円以上

（単位：億円）

■ 累計フリーキャッシュフロー



1

投資の抑制

- 案件の絞り込みによる設備投資の凍結・延期で
上期設備投資、約36億円に抑制（前年上期実績163億円）

2

経費削減

- グローバルで前年上期に対し、
約46億円の経費を抑制（売上減少に伴う変動費分含む）

3

人事施策

- 売上減少に伴う一時帰休等を含め、
グローバルで前年上期に対し、約71億円の人件費を抑制
- 関係会社を含む国内 549名の希望退職の実施（2020年10月末退職）

4

拠点再編

- 新潟工場および(株)落合製作所の閉鎖に向けた準備を計画通り推進中

ご注意

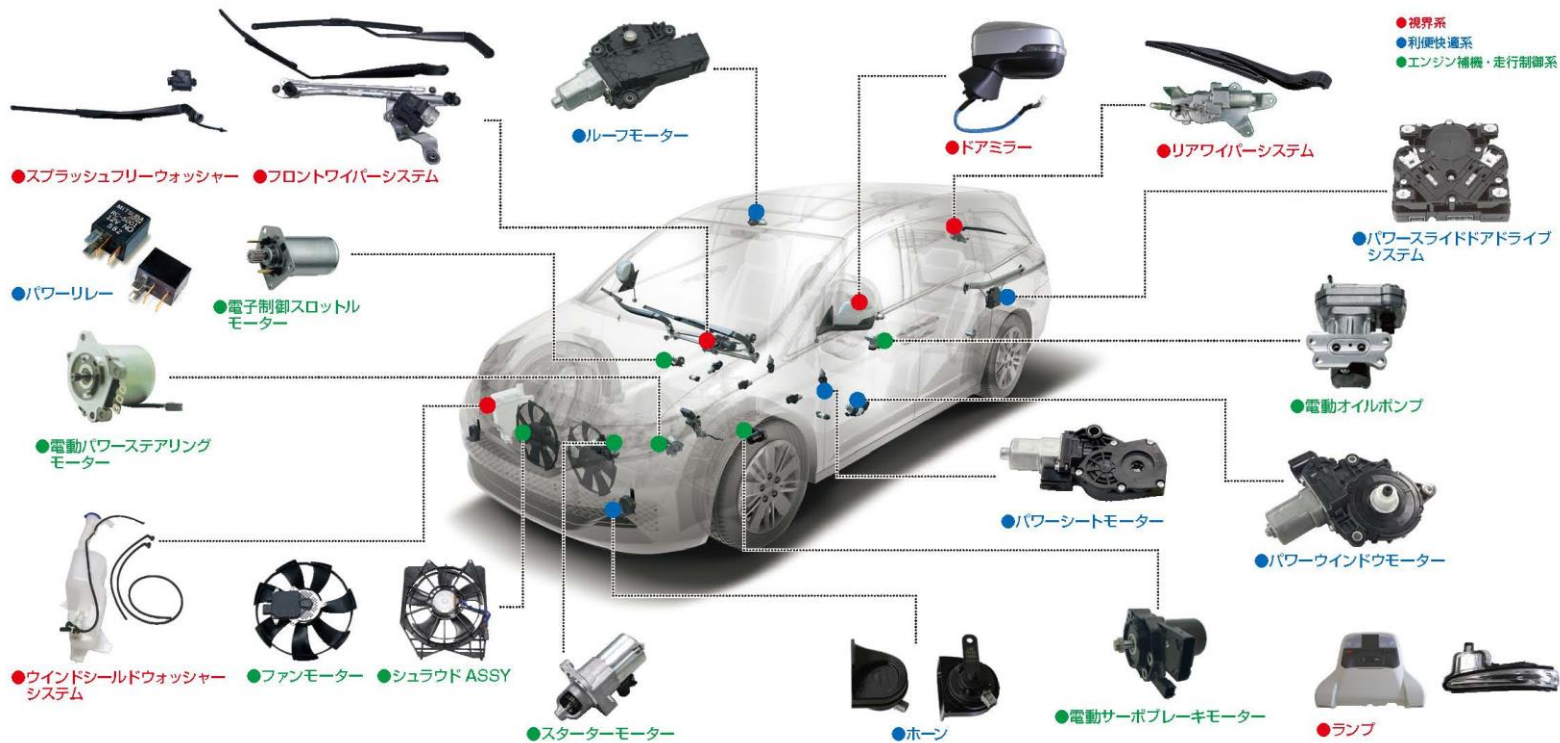
本資料には、当社グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。

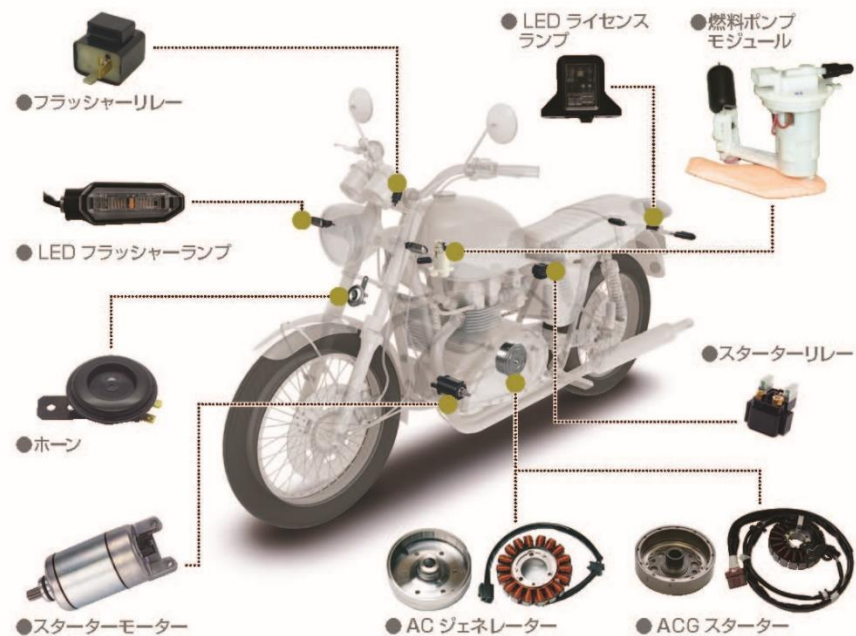
そのため、今後、経済情勢や景気動向、法令規制の変化その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と異なる可能性があることにご留意ください。

本資料は、当社の株式その他の有価証券の勧誘を構成するものではありません。

四輪事業



二輪事業、その他



汎用電装製品



ミツバビジョン2024

グローバル発、新たなステージへ

+ VISION 2
新たな市場を創造する

➤ VISION 1
安全・安心ニーズに応える

■ VISION 3
個の成長とグローバルコミュニケーション

~ End of Presentation ~